



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第19号

学校教育目標 「たくましい心と体をもち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

修学旅行 に行ってきました!~その2~

2日目

起床は6時30分でしたが、それより早く目が覚めた子もいれば、前日の夜、恋バナに花を咲かせ(?)寝不足気味の子もいたでしょうか……。それでも7時になる頃には各部屋や廊下に子どもたちが動き出した気配が感じられるようになりました。

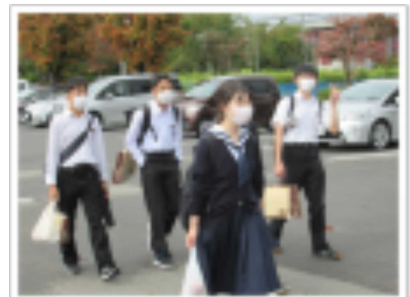
朝食は、前日の夕食同様に美味しいものばかりで、おなかいっぱいいただきました。中でも子どもたちにはデザートプリンとリンゴジュースが好評だったようです。腹ごしらえが十分にできたところ



で、出発準備に取りかかりました。各部屋に戻り、荷物を整理し、室内を清掃したところで先生方のチェックを受け、合格をもらえば小布施への切符を手にすることができるのですが……。時間にはバスに集合できたので、“部屋点検全員合格”で晴れて小布施へと向かいました。

しかし、天気の方は“晴れて”とは行かず、小布施までの40分ほどの間もずっと雨が降っていました。松村町営駐車場に着くと、いよいよ班別自主見学のスタートです。岩松院は急遽の事情により中に入ることができませんでしたが、浄暁寺、フローラルガーデン、小布施ミュージアム、北斎館などを見学しながら、約3時間散策を楽しみました。途中で道に迷った班もあったようですが、手にたくさんのお土産をつるしてゴールしてくる子どもたちは口々に「楽しかったー!」と言っていましたので、小布施を満喫したようでした。

ちなみに私は、遠藤先生と一緒に、竹風堂小布施本店限定の「栗子餅」(とっても美味しかったです)をいただいたり、買い物をしたりしながらゆったりとした時間を過ごさせてもらいました。



道の駅オアシスおぶせでは、事前に希望をとっておいた「唐揚げ定食」か「カツカレー」のいずれかを昼食にいただきました。子どもたちには「唐揚げ定食」の方が人気があったようですが、「カツカレー」もなかなかの美味でした。何と言ってもボリュームがあり、おなかを満たすには十分すぎるほどでした。



昼食を済ませると、最後の見学地である松本城へ向かいました。

1時間ほどで松本城に到着し公園内に足を踏み入れると、黒と白のコントラストが美しい見事な姿



が目に飛び込んできました。日本でも有数の美しさを誇ると言われるだけあって、芝や木々の緑の中に現存する日本最古の五重天守がそびえ、その景観に引き込まれた子どもたちも多かったのではないかと思います。悔やまれるのはお天気……。晴れていればアルプスの山々を背景にした松本城を臨むことができたことでしょう。

天守内は三密を避けるために、係の方の指示に従って人数制限を行いながらの見学となりました。狭くて急な階段や頭をぶつけそうな低い天井に気をつけながら、展示品の火縄銃に足を止めて見入ったり、“狭間”と呼ばれる矢や鉄砲を放つための小窓から外をのぞいてみたりしては、外観の美しさとは対照的に、戦うための様々な仕掛けをもった城であることを実感したのではないかと思います。天守内の見学を終え、子どもたちは最後の買い物を楽しんで松本城を後にしました。



一行は松本インターから高速に乗り、一路、南西中へ。2日目はたくさん歩いたので少し疲れたのか、バスの中にはDVDの音声が響くものの、子どもたちの声は聞こえてきませんでした。予定より30分ほど遅れての到着となったので、辺りはもう真っ暗でした。たくさんのお土産で出発の時よりも増えた荷物を抱え、子どもたちは家路を急ぎました。

翌日の朝、解団式を行いました。2泊の予定が1泊になったことで、より一層“あっという間”を実感した修学旅行になりましたが、2日間を通じて得た様々な成果と課題をこれからの学校生活に生かしてこそ、緑学年が“南西中の本物の顔”となってさらに成長していくのだと思います。実際のところ、3年生はすでに「いちょう祭」に向けたブロック活動や実行委員会で1・2年生をリードしています。修学旅行の本当の成果は、こんなところにあらわれてくるものと思っています。

【3学年保護者の皆様へ】 お子様からたくさんのお土産話をお聞きになったことと思います。子どもたちの思い出を一つ増やすことができホッと胸をなで下ろすとともに、これも保護者の皆様のご理解とご協力がなければ実現できなかったと改めて実感しております。本当にありがとうございました。



